

# ZERO FES | 世界を変える10代がここから始まる

—ジャンルも、国境も超えて— 夢と挑戦がつながり はじめる共創の場

2025年7月21日(月・祝)ZERO-SITE Takanawa Gateway



株式会社IDEAR（本社：東京都渋谷区）は、世界各国から10代のトップエンターテイナーが集い、共にカルチャーを創り上げる国際フェスティバル「ZERO FES(ゼロフェス)」を、2025年7月21日(月・祝)にZERO-SITE Takanawa Gateway(東京都港区)にて初開催いたします。ZERO FESは、“すごい10代だけを集める”のではなく、“すごくなる10代を生み出す”ことを目指す共創型イベントです。音楽・ダンス・アート・映像・テクノロジーなど、ジャンルや文化・言語の壁を超え、次世代のエンターテインメントがここから動き出します。

## ■ IDEARについて

IDEAR(アイディア)は、次世代を担う若者たちの“夢”や“アイデア”を、エンターテインメントとして社会に届けていく共創型コミュニティ/プラットフォームです。社名には、「I DEAR(親愛なる)」と「Idea(アイデア)」の意味を込め、世代やジャンル、肩書きや国境を超えて、「誰かとつながることで生まれる力」を信じ、活動を展開しています。

## ■ 「IDEAR」創業の原点：ひとつの問いから始まった

IDEARの原点は、天野凱斗(あまの がいと)が10歳(2020年)の時に立ち上げた世界全ての国に同世代の友達を作り、ワンチームにするというプロジェクト「Dear My Future Friends」までさかのぼります。文化も言葉も異なる世界中の同世代たちと語り合い、つながりの中で、「夢や想いをカタチにできる“リアルな場”の必要性」を痛感し、IDEARが誕生しました。

現代社会は、情報と才能に満ちていながらも、象徴的な存在が見えにくく、才能や表現がSNSで分断され、ネットの空気に押されて本音を語れない。そんな状況に、夢を語ること・自分を表現することへの「見えないブレーキ」がかかっていると感じ、IDEARは、こうした時代に対し、国や文化、肩書きにとらわれず、自由にアイデアを語り合えるリアルな“共創空間”を創出し、「すごい10代」を集めるだけでなく、「すごくなる10代」が生まれる仕掛けを作り、本気の挑戦を“エンターテインメント”として社会に届けていくという姿勢で、次世代の創造を支えます。

## ■ ZERO FESとは

ZERO FESは、10代が主役となり、「見る」イベントではなく「動き出す」フェスティバルを目指します。出演者も観客も関係なく、挑戦が挑戦を引き出す「共創の連鎖」が生まれる、新しいかたちのエンターテインメントです。

- ・ 「すごい10代だけを集める」のではなく、「すごくなる10代を生み出す」
- ・ 音楽・ダンス・映像・テクノロジーなどジャンルを越えて交差
- ・ リアルで共鳴し、次の挑戦者が生まれるフェス
- ・ 10代発・世界基準のカルチャーが東京から発信される1日

出演者には、フランス・セネガル・チリ・ドバイ・ポーランド・スコットランド・日本など、世界中で活躍する10代のパフォーマーたちがラインナップ。世界のフェスやメディアを沸かせてきた彼らが、「この瞬間だけのために」東京に集まります。

## <本件に関する報道関係者のお問合せ先>

IDEAR PR事務局(COM-MIX INC. 内)

担当：中村 ケニー(090-5941-7911) E-mail:idear\_pr@com-mix.jp

## 【ZERO FES 開催概要】

イベント名: ZERO FES (ゼロフェス)

開催日: 2025年7月21日 (月・祝)

時間: 開場15:00 開演15:30-18:00

申込: <https://idear-zerofes.peatix.com/>

入場料: 19歳以下 無料 | 前売り券 (20歳以上) 2,000円 | 当日券 (20歳以上) 2,500円 |

会場: ZERO-SITE Takanawa Gateway (東京都港区高輪2-21-2 3F THE LINKPILLAR 1 SOUTH 内)

主催: ZERO-SITE Takanawa Gateway / 株式会社IDEAR

内容: 出演者によるパフォーマンス、来場者と出演者の交流スペース、挑戦を投稿できるメッセージボード、フォトブース、軽食・ドリンク

## 【出演者紹介】



エルフィゴ

**DJ ELFIGO (14歳) | フランス出身 / イビサ島を拠点で活動中のDJ**

14歳にしてTomorrowlandに2年連続出演、今年はJBL Boiler Roomにも登場。世界が注目する若き天才DJ・ELFIGOが、ついに日本初上陸。

フランス出身でイビサを拠点に活動し、Instagramフォロワーは82万人超、総フォロワー数は200万人以上。動画総再生は1億4,500万回を超える。

ハウスやエレクトロ、ヒップホップを自在に操り、4デッキを駆使したマッシュアップは鮮烈。次世代の音楽シーンに新たな刺激をもたらす存在。



ミラレイ

**MC Millaray (19歳) | チリ出身、マプチェ族のルーツを持つ19歳ラッパー**

チリ出身、先住民族マプチェの血を引くMC Millarayは、わずか5歳でリリックを書き始め、社会正義、環境問題、人権といったテーマを力強く発信。2019年からは「マプチェの子どもたちの権利保護ネットワーク」の公式スポークスパーソンを務め、Climate Week (ニューヨーク) や「ヴィクトル・ハラ アート&メモリーフェスティバル」など、世界の注目が集まる舞台でも存在感を示す。そのメッセージとパフォーマンスは国境を越え、2022年には世界的ポップスター、ショーン・メンデスとの共演も実現。言葉とビートで未来を切り拓く、次世代のコンシヤス・ラッパーである。



パパ ママドゥ

**Papa (17歳) Mamadou (16歳) | セネガル出身、17歳と16歳、のダンサー**

DANCE ALIVEセネガル大会で圧倒的な存在感を放ったダンサーたちが、ついに来日。

アフリカの大地を感じさせるセネガル太鼓のビートに呼応し、全身からエネルギーがほとばしるようなダンスパフォーマンスを披露する。さらに、DJによるサウンドと融合したスペシャルなコラボレーションも実現。リズムと魂がぶつかり合う、唯一無二のステージをお届けする。

\*写真は、Papa

オテック



**DJ OTEK (15歳) | ポーランド出身、15歳のDJ / アーティスト**

TikTokフォロワー13万人超、圧倒的な存在感とセンスで注目を集めるDJ OTEKは、2024年「Polish Clubsound DJ Championship」準優勝をはじめ、数々のコンテストやメディアでも才能を発揮。2023年にはポーランド最大級のラジオ局RMF FMの音楽プロジェクト「XD」に抜擢され、若きスーパースターとしての階段を駆け上がっている。その圧巻のパフォーマンスと確かなテクニクは、プロデューサーのTribbsやC-BooLといったトップアーティストたちからも熱い支持を受けている。ZERO-FESでは、次世代を担う彼のエネルギーが、フロアを熱狂の渦へと導く。

ミシェル



**DJ MICHELLE (13歳) | アゼルバイジャン出身、ドバイをベースに活躍する13歳のDJ**

ドバイ在住のDJ Michelleは、わずか5歳でキャリアをスタート。

その天賦の才能と類まれなスキルで、DMC World ChampionshipsやGoldie Awardsでは史上最年少ファイナリストに輝く。2023年には初の著書を出版し、2024年には世界最大級の音楽フェス・Tomorrowlandにおいて史上最年少DJとして出演。世界の音楽シーンに鮮烈な印象を残した。ポップス、EDM、ヒップホップなど多彩なジャンルを自在に操り、鋭いターンテーブルテクニクと圧倒的なエネルギーで観客を魅了する、唯一無二の存在である。

セザーリ・マヘイ



**Cezary Machej (18歳) | ポーランド出身、18歳のDJ / プロデューサー / ドラマー**

エレクトロニック・ミュージックとライブ・ドラムを融合させた唯一無二のパフォーマンススタイルで注目を集める若き才能。

アコースティックと電子ドラムの両方を駆使し、その場でビートを構築していく圧巻のライブは、観客を一瞬で引き込む。2025年にはTomorrowland Winterで世界の“次世代注目DJトップ3”に選出。ビートに合わせて叩き込まれるドラムが、フロアに圧倒的な熱量と一体感を生み出す。



### YUKI YAMAMOTO (15歳) | 世界3位のドローンレーサー

10歳でドローンに出会い競技を開始。2024年の世界大会でTEAM JAPANとして3位入賞、全国大会でも優勝。現在は国内外で活動しながら、空撮による映像表現にも挑戦。唯一無二の視点で世界を切り取る注目の若手。



### GEN ITAMI (15歳) | 世界7位のドローンレーサー

10歳でドローンをはじめ、最近では国内だけでなく、海外レースにも参戦予定。日本選手権4位、タイニードローン日本2位の実績を持つ。



### RIKI FERGUSON (17歳) | 日本とスコットランドにルーツを持つ17歳の音楽プロデューサー

エレクトロやラップビートを独自にミックスし、Spotifyやイベントで楽曲を発表。世界中を旅しながら“音でつながる”ことを目指し、活動を広げる次世代アーティスト。



あまの がいと

### 天野 凱斗(14歳) | IDEAR創業者 兼 ZERO FESプロデューサー

東京都内の中学校に通う14歳。幼い頃から親の仕事で世界各国を巡り、異なる文化や価値観に触れながら育つ。10歳のとき、「世界中の同世代と友達になりたい」という想いから、独自プロジェクト『Dear My Future Friends』を立ち上げ、大使館を訪問したり、各地でスピーチを行いながら、世界20カ国・25人の同世代と直接つながることに成功。実際に言葉を交わし、夢や価値観を語り合う中で、「世界中の若者がアイデアを出し合い、夢を本気で実現できる場が必要だ」と強く感じ、10歳で、若者がジャンルや肩書きを超えて出会い、アイデアを語り合い、夢を共創で実現する場——共創型エンターテインメントプラットフォーム『IDEAR(アイディア)』を創業。

## IDEAR主催の「ZERO FS(ゼロフェス)」って、どんな場所？

「なんかやってみたい」その気持ちが、はじまりになる。ZERO FESは、「すごい10代」だけが出るイベントじゃありません。むしろ、「まだ自信はないけど、一步踏み出したい」って思ってる10代のためのフェスです。

「やりたいことあるけど、言える場所がない」、「アイデアはあるのに、どう進めていいかわからない」「ただ何か、動き出したい」そんな気持ち、ありませんか？ZERO FESでは、“見るだけ”でもう参加してるって思っておOKです。誰かの歌やDJを聴いたり、ダンスを見たり、映像にふれたり。それだけで、なにかが心の中で動き出すかもしれません。出る？見る？関わる？ぜんぶアリ！ZERO FESには、いろんな関わり方があります。

「ステージに出てみたい」、「イラストやグラフィックを描いてみたい」、「カメラで写真・動画を撮ってみたい」、「英語できるから通訳をやってみたい」、「SNSの発信を手伝ってみたい」、「何もしなくても、とにかく見に行ってみよう！」

どれもOK！どんな関わり方でも、君の「次の一步」がここから見えてくるかもしれません。「特にこれがやりたい！ってものはない」人も、ぜんぜん気にしないで大丈夫。ZERO FESは、まず“感じる”ことがスタートです。音楽だけが表現じゃない。しゃべること、写真を撮ること、誰かを応援すること、それも立派な“表現”です。「なんかおもしろそう」「ちょっと行ってみたいかも」その気持ちだけで、もう充分。

たった1日で、人生が少し動くかもしれない。ある子は「このフェスを知って、やっとなんか動き出した」って言ってくれました。海外から、「一日だけでも日本に帰って参加したい！」って。それくらい、「きっかけ」って大きいんです。ZERO FESは、「見に来るだけ」でもいいし、「誰かの背中を押してあげたい」って気持ちでもいい。

今回初開催となるZERO FESには、フランス・セネガル・チリ・ドバイ・ポーランド・スコットランド・日本など、世界各地で活躍する10代のトップ・アーティストたちが出演予定です。世界のフェスやメディアを沸かせてきた彼らが、「この瞬間だけのために」東京に集結。ジャンルや言語、文化の壁を超えて、ここでしか生まれない“いまこの瞬間”のエンターテインメントを共創します。

君の“やってみよう”が、誰かとつながって、動き出す。その最初の一步を、ZERO FESで踏み出してみませんか？

会社名：株式会社IDEAR

所在地：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-48-7 2F

ホームページ：<https://idear.ltd/>

創業者：天野 凱斗

事業内容：若者の夢やアイデアをエンターテインメントとして社会に発信する共創型プラットフォームの企画・運営。  
国内外の10代と共に、ジャンル・国境を超えたカルチャーイベントやプロジェクトを創出。

## ZERO FES開催会場 | ZERO-SITE Takanawa Gateway(ゼロサイト高輪ゲートウェイ)について

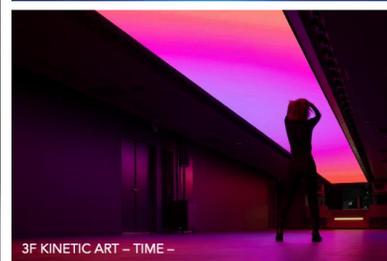
ZERO-SITE Takanawa Gatewayは、2025年3月に開業した次世代型複合拠点「高輪ゲートウェイシティ」内に設置された、期間限定(2025年7月31日まで)のクリエイティブ・プラットフォームになります。

CULTURE(文化)/ COMMUNITY(共同体)/ CREATION(創造)/ CIRCULATION(循環)という4つの要素を融合した、マルチパーパス空間として設計され、700人規模のイベント空間、多層ラウンジ、3フロアに展開するバーやクラブ機能、最先端の音響(VOID/Danleyサウンド)と27mのLED天井など、インパクトのある演出を可能とする空間。「高輪ゲートウェイ駅」直結という高アクセス性と、都市の“隙間”を活用した開放的なロケーションにより、アート・音楽・テクノロジーなど多彩な表現活動が自然に交差し、創発の場となっています。

## ZERO FESとZERO-SITE Takanawa Gatewayのシナジー

ZERO FESにとって、ZERO-SITE Takanawa Gatewayは理想的な実験場です。

「ゼロから共創が始まる」というコンセプトと、商業性に縛られない自由な空間構成がマッチし、10代のリアルな挑戦と表現が映える舞台となります。ここでしかなし得ない“出会い”と“共創”を組み合わせ、未来のエンターテインメントを立ち上げる——そんな思いを抱き、この会場にてZERO FESを実施します。



© 2024 ZERO-SITE Takanawa Gateway

会場名：「ZERO-SITE Takanawa Gateway」

所在地：〒108-0074東京都港区高輪2丁目21-2 THE LINKPILLAR 1 SOUTH 正面 ZERO-SITE 2F / 3F

問合せ：03-5422-7650

### 電車でお越しの方

JR山手線、JR京浜東北・根岸線「高輪ゲートウェイ駅」直結

JR京浜東北・根岸線 東京駅より約8分 | JR山手線 渋谷駅(内回り)より約14分

### <本件に関する報道関係者のお問合せ先>

IDEAR PR事務局(COM-MIX INC. 内)

担当：中村 ケニー(090-5941-7911) E-mail:idear\_pr@com-mix.jp